



2015年3月期(平成26年度)  
第1四半期決算説明資料

2014年8月5日

**ダイキン工業株式会社**

## 2015年3月期第1四半期決算説明資料

- 第1四半期決算概要・・・・・・・・・・・・P.3
- 第1四半期部門別業績・・・・・・・・・・・・P.4-12
  - ・部門別売上高/営業利益
  - ・地域別売上高の推移 ― 空調事業、化学事業
  - ・部門業績の概況

※14年度より会計方針を一部変更(売上高計上基準を出荷基準から納品基準へと変更)したことに伴い、13年度1Q実績については、各財務数値の遡及修正を行っております。

# ■ 第1四半期決算概要



中国・アジアを中心に海外空調事業が順調に拡大。  
 売価政策の徹底、固定費削減を含めたトータルコストダウンに努めたことに加え、円安効果もあり、増収増益を達成。

(単位:億円)

	1Q実績(4-6月)		
	13年度	14年度	前年比
売上高	4,652	4,894	105%
営業利益 (利益率)	422 (9.1%)	541 (11.1%)	128%
経常利益 (利益率)	424 (9.1%)	527 (10.8%)	124%
四半期純利益 (利益率)	277 (6.0%)	357 (7.3%)	129%

14年度計画(現公表)			
上期	前年比	年間	前年比
10,200	111%	19,800	111%
1,000 (9.8%)	110%	1,700 (8.6%)	110%
980 (9.6%)	109%	1,660 (8.4%)	108%
640 (6.3%)	110%	980 (4.9%)	107%

為替レート

ドル/円	99	102	—
ユーロ/円	129	140	—

98
132

■ 為替影響(対前年)  
 売上高+120億円、営業利益+19億円

\*上期および通期の業績予想は 変更なし

※13年度の各財務数値の遡及処理により、13年度1Qの実績は、昨年発表時より、  
 売上高は+48億円、営業利益および経常利益は+18億円となっております。

# ■ 第1四半期 部門別売上高/営業利益



(単位:億円)

		1Q実績(4-6月)		前年比
		13年度	14年度	
全社	売上高	4,652	4,894	105%
	営業利益 (利益率)	422 (9.1%)	541 (11.1%)	128%
空調	売上高	4,262	4,493	105%
	営業利益 (利益率)	415 (9.7%)	530 (11.8%)	128%
化学	売上高	308	304	99%
	営業利益 (利益率)	10 (3.4%)	10 (3.4%)	98%
その他	売上高	82	97	119%
	営業利益 (利益率)	▲ 3 —	1 —	—

14年度計画	前年比
19,800	111%
1,700 (8.6%)	110%
17,750	111%
1,495 (8.4%)	108%
1,500	107%
175 (11.7%)	123%
550	110%
30 (5.5%)	124%

# ■ 地域別売上高の推移-空調事業



(単位:億円)

	2010年度1Q		2011年度1Q		2012年度1Q		2013年度1Q		2014年度1Q		2014年度計画	
	増減率	売上高	増減率	売上高	増減率	売上高	増減率	売上高	増減率	売上高	増減率	売上高
日本	103%	806	119%	956	105%	1,004	99%	999	98%	980	104%	4,500
ヨーロッパ	96%	576	106%	608	73%	444	134%	594	103%	612	116%	2,700
中国	145%	310	120%	371	161%	598	139%	833	114%	953	112%	3,230
アメリカ	103%	202	107%	217	110%	239	449%	1,071	109%	1,166	116%	4,230
アジア	126%	244	123%	302	109%	327	156%	510	112%	572	106%	1,900
オセアニア	113%	93	86%	80	92%	74	130%	96	99%	95	103%	430
中近東	142%	45	103%	47	181%	85	157%	133	70%	93	144%	650
アフリカ	81%	19	80%	16	99%	15	164%	25	86%	22	110%	110
計	108%	2,295	113%	2,595	107%	2,787	153%	4,262	105%	4,493	111%	17,750

海外売上高比	65%	63%	64%	77%	78%	75%
為替レート(ドル/円)	92円	82円	80円	99円	102円	98円
為替レート(ユーロ/円)	117円	117円	103円	129円	140円	132円

## ■ 為替影響を除く実質前年比

	2014年度1Q	2014年度計画
ヨーロッパ	95%	118%
中国	112%	112%
アメリカ	106%	119%

# ■ 地域別売上高の推移-化学事業



(単位: 億円)

	2010年度1Q		2011年度1Q		2012年度1Q		2013年度1Q		2014年度1Q		2014年度計画	
日本	157%	101	116%	117	83%	98	91%	89	99%	87	104%	390
アメリカ	146%	67	86%	58	123%	71	116%	83	97%	81	107%	405
中国	182%	37	165%	60	83%	50	153%	76	85%	65	114%	380
アジア	156%	23	182%	43	54%	23	116%	26	121%	32	119%	180
ヨーロッパ	172%	23	124%	29	98%	28	110%	31	123%	37	103%	145
その他	79%	2	150%	3	65%	2	168%	3	46%	2	—	—
計	158%	254	122%	309	88%	272	113%	308	99%	304	107%	1,500

海外売上高比	60%	62%	64%	72%	71%	74%
為替レート(ドル/円)	92円	82円	80円	99円	102円	98円
(ユーロ/円)	117円	117円	103円	129円	140円	132円

## ■ 為替影響を除く実質前年比

	2014年度1Q	2014年度計画
アメリカ	95%	109%
中国	84%	114%
ヨーロッパ	110%	104%

# ■ 第1四半期部門業績の概況(空調事業)



## 国内

住宅用の業界需要は、消費税増税前の駆け込み需要の反動はあったものの、その影響は限定的であり、前年比微減にとどまった。

業務用の業界需要は、首都圏を中心とした設備投資の回復基調もあり堅調に推移。

- ・当社は、昨年に引き続き、住宅用・業務用ともに売価維持政策の徹底、省エネ性・環境性を訴求した高付加価値商品の拡販に努め、計画を超える収益を確保。

<国内空調 業界・当社出荷状況>

(千台)		1Q実績	前年比
住宅用	業界	2,747	97%
	当社	—	90%
業務用	業界	204	103%
	当社	—	88%
エコキュート	業界	101	98%
	当社	—	99%

14年計画	前年比
7,700	82%
—	94%
750	90%
—	100%
420	91%
—	87%

# ■ 第1四半期部門業績の概況(空調事業)



## 欧州

(トルコ・中近東・アフリカを含む)

主力である南欧での一般消費の冷え込みやトルコ・ロシアを中心とした新興地域の景気減速など、空調需要は依然厳しい状況が続いている。

- ・住宅用は、ボリュームゾーン商品の販売強化に加え、欧州で開発したデザイン性の高いプレミアムゾーン商品を展開。
- ・業務用は、建築需要の回復するイギリス・ドイツを中心に、きめ細かな販売店フォローや受注活動に取り組んだ。
- ・暖房事業は、主力のフランス市場での販売店開発に加え、ドイツやイタリアなどでも拡販し、前年を大きく上回った。

< 欧州製品別販売状況(台数ベース) >

(前年比)		1Q 実績	2014年度通期	
			需要	当社計画
住宅用(RA)		78%	102%	114%
業務用	SKY	89%	103%	104%
	VRV	95%	108%	115%
暖房		114%	110%	114%
アプライド		95%	101%	125%

※SKY・・・中小型パッケージエアコン  
 ※VRV・・・ビル用マルチエアコン  
 ※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

# ■ 第1四半期部門業績の概況(空調事業)



## 中国

不動産市況の冷え込みにより、空調需要は引き続き厳しい状況が続いている。

- ・景気の影響が比較的小さい一般住宅市場、業務用街売市場を中心に拡販。  
特に、小売、街売向け販売網である「プロショップ」が販売増を牽引。
- ・アプライドでは、政府の投資抑制政策により需要の伸びが鈍化する中、ターボ冷凍機やエアハンドリングユニットなど機器販売を国内外で拡大。
- ・主力商品のモデルチェンジによる売価維持や、部品の現地調達などを軸としたコストダウンの推進により、高収益を維持。

< 中国製品別販売状況(台数ベース) >

(前年比)		1Q 実績
住宅用(RA)		126%
業務用	SKY	142%
	VRV	123%
アプライド		105%

2014年度通期	
需要	当社計画
100%	131%
99%	112%
104%	110%
104%	111%

※SKY・・・中小型パッケージエアコン  
 ※VRV・・・ビル用マルチエアコン(住宅用マルチエアコン含む)  
 ※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

## ■ 第1四半期部門業績の概況(空調事業)

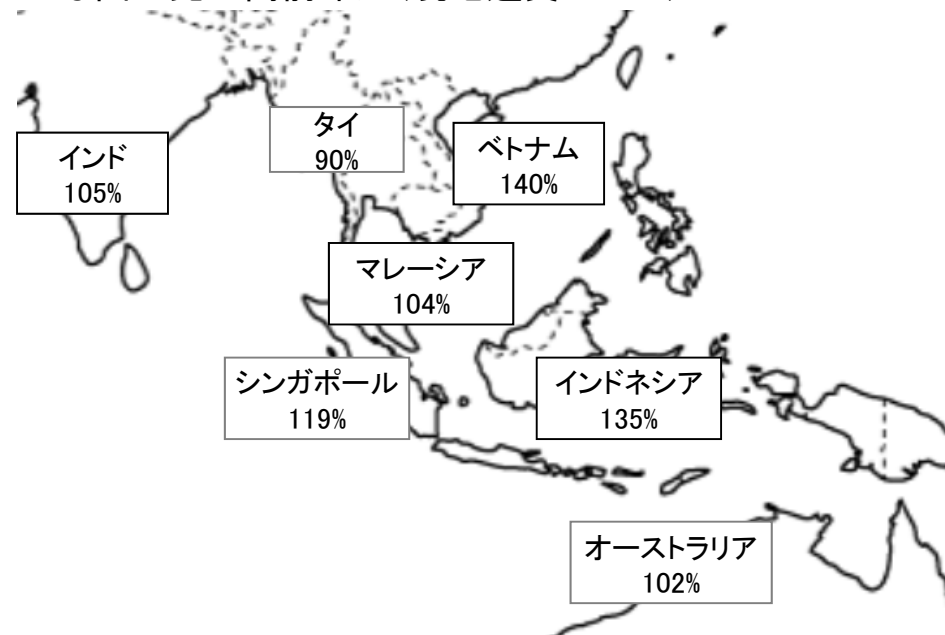


### アジア・オセアニア

販売網強化を進めてきたベトナム・インドネシアなどの新興国では、住宅用・業務用ともに販売を伸ばし、オーストラリア、シンガポール、マレーシアでの販売も堅調に推移。タイでは政情不安や経済活動の停滞により売上が伸び悩んだが、地域全体の売上高は前年を大きく上回った。

- ・各地域で業務用、特にVRVの販売が順調に拡大。
- ・収益力強化に向けボリュームゾーンの規模拡大と販売店開発による業務用の営業強化に取り組む。

<主な国の売上高前年比(現地通貨ベース)>



# ■第1四半期部門業績の概況(空調事業)



## 北米

### ・ダクトレス

ーグッドマン社の販売網を活用し、VRVを中心にライトコマーマーシャル市場で順調に拡大。

### ・住宅用ユニタリー

ー住宅着工拡大基調の中、インバータ搭載ユニタリーなどプレミアムゾーンの商品ラインアップを拡充し、更新市場向け・新築市場向けともに販売が好調に推移。

### ・アプライド

ー前期末(1-2月)の大寒波の影響により受注が減少する中、エアハンドリングユニットなど機器の拡販に努めた。

・グッドマン社とのシナジーは、リーン経営のトランスファーに加え、業務用製品(VRV)、インバータ搭載ユニタリーのプレミアムゾーンでの販売拡大をより一層強化する。

＜北米製品別販売状況(台数ベース)＞

(前年比)		1Q	
		実績	2014年度通期
		需要	当社計画
ダ ク ト レ ス	住宅用(RA)	169%	112%
	業務用	SKY	130%
		VRV	164%
住宅用ユニタリー		108%	106%
アプライド		96%	115%

※SKY・・・中小型パッケージエアコン

※VRV・・・ビル用マルチエアコン

※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

## ■ 第1四半期部門業績の概況(化学事業)



フッ素化学需要がゆるやかな回復基調にある中、拡販に努めたが、中国での売価ダウンの影響を受け減収減益。

### ・樹脂・ゴム

ーフッ素樹脂は、自動車向けに拡販したが、米国での新製品の開発遅れ、中国でのインフラや鉄道等での需要が伸び悩んだことにより、前年を下回った。

ーフッ素ゴムは、欧州・アジアなど海外での自動車向けに販売を伸ばした。

・化成品は、タッチパネル等に用いられる表面防汚コーティング剤(オプツール)の販売が減少したが、欧州・アジアでの衣料用途向け撥水撥油剤で売上を伸ばした。

・フルオロカーボンガスは、中国での売価ダウンに伴う販売抑制により、前年を下回った。

<フッ素化学製品の販売状況(売上高ベース)>

(前年比)	1Q 実績	2014年度通期	
		需要	当社計画
全フッ素化学品	99%	104%	107%
ガス	88%	103%	95%
樹脂ゴム	99%	104%	106%
化成品ほか	101%	105%	111%



# ダイキン工業株式会社

## 予測に関する注意事項

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(業績計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその確実性・完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願い致します。本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。